

県社保協 第3回(2023年4月)幹事会(報告)

日時: 2023年4月12日【水】18:00~19:30

場所: 鹿児島民商 会議室

参加: 重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、(年金者組合)

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

堅山 清隆、村上 洋平(以上監査) カッコが参加者

【議題】

- 1、各団体活動報告(3~4月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、子ども医療費無料化に向けて
- 4、いのちのとりで裁判支援について
- 5、水俣病被害者支援について
- 6、各分野別課題と今後の取り組みについて
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 7、その他
 - 1) 日程について
 - 2) その他

【事務局報告】

- 02月18日(土) 県母親大会実行委員会
- 02月19日(日) 医療者アクションシンポジウム(税の使い道を考える)
- 02月23日(木) かがしま九条の会学習講演会(安保3文書改定)
- 03月01日(水) 中央社保協運営委員会
- 03月11日(土) ストップ川内原発3・11 かがしまパレード
- 03月15日(水) 日本平和大会現地実行委員会
- 03月18日(土) 県母親大会実行委員会 共産党演説会
- 03月20日(月) いのちのとりで裁判(原告本人尋問)
- 03月24日(金) 中央社保協九沖ブロック会議

- 03月31日(金) 県議選告示
04月09日(日) 県議選 投開票
04月12日(水) 中央社保協運営委員会

1、中央社保協報告について

1) 運営委員会報告

別紙参照

2) 学習会・集会関係

【終了したもの】 ホームページに動画がアップされています

①マイナンバーカード強制をやめて保険証廃止法案は撤回を！国会内集会
住江保団連会長の学習会

③中央社保協オンライン連続学習会

第1弾 食料・農業の危機打開へ～いま何ができるのか～

第2弾 消費税は社会保障の財源なのか

第3弾 社会的危機の歴史的背景と闘いの方向

【これからの予定】

①4.17院内集会 今こそ、生活保護をあたり前の権利に！別紙参照

4月17日(月) 12:00～14:30

②介護保険制度の改善を求める5.22 請願署名提出集会

5月22日(月) 10:30～12:00

③国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料に 署名提出集会 別紙参照

5月24日(水) 12:00～13:30

3) 社会保障誌 入門テキスト第2弾 別紙参照

①各団体で活用をお願いします。注文は直接中央社保協へお願いします。

2、各団体活動報告

生健会・・・事務所移転 総会(6/10土10:00～よかセンター) 別紙参照

民医連・・・

県商連・・・コロナ禍の3年、確定申告も今年は期限延長もなくバタバタした。

飲食店を中心に経営は厳しい、退会も増えている。

インボイス中止・延期を求める運動を今後も進める。

保険医協会・・・3/19に第38回定期総会を行った。3年ぶりに対面での記念講演、

懇親会も行った。マイナ保険証の問い合わせも増加している。

県労連・・・

医労連・・・春闘の状況の報告があった。全医労が久しぶりにストライキを行っ

た。有水事務局長の退職で労働相談の対応が大変になっている。

自治労連・・・3/8 麦の芽労組で団体交渉を行った。交渉に上部団体を入れる入れないでもめた。賃上げもボーナスもなく 20 名の職員が退職した。現場は人手不足でたいへんになっている。

年金者組合・・・

民青同盟・・・6/11（日）14 時からもってけ市を行う。当初はコロナ禍で苦しむ学生のために開始したが、最近の物価高もあって、継続することにした。

共産党・・・岸田政権の大軍拡・大增税を阻止するため、統一地方選挙で奮闘中。

新婦人・・・

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・自衛隊への名簿提供問題では、除外申請が 115 名（対象 18 歳 約 5700 名）あった。5 月まで除外申請の延長を当局に求めている。サッカースタジアム問題も白紙に戻りそう。公共交通問題も人手不足で減便が続く。

2024 年度の第 9 期高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定や医療・介護・障害福祉の同時報酬改定に向けて、シンポジウムを開催してはどうかとの意見があり、次回幹事会で、豎山監査の提案をもとに協議することとした。

3、子ども医療費無料化に向けて

1) 独自署名について

県医師会などが 2 月から署名を開始しています。別紙参照
よって、今回の独自署名については、見送ることとしました。

2) 今後の対応

県医師会に対して、何らかのアプローチが必要でしょうか？

4、いのちのとりで裁判支援について 別紙参照

1) 3 月 20 日（月）に原告本人の尋問が行われました。

当日は、3 名の原告が証言に立ち、主尋問・反対尋問に応じました。

次回、7 月 24 日（月）14：00～が最終弁論で結審となります。

2) 各地の判決（2022～2023 年）

原告勝訴

熊本：2022 年 5 月 25 日 東京：2022 年 6 月 24 日 横浜：2022 年 10 月 19 日

宮崎：2023 年 2 月 10 日 青森：2023 年 3 月 24 日 和歌山：2023 年 3 月 24 日

埼玉：2023 年 3 月 29 日 奈良：2023 年 4 月 11 日

原告敗訴

秋田：2022 年 3 月 7 日 佐賀：2022 年 5 月 13 日 仙台：2022 年 7 月 27 日

3) 結審日（7 月 24 日）に宣伝行動や集会など、生健会や 25 条の会と調整して開催す

ることとしました。

5、水俣病被害者支援について

1) 国賠訴訟の状況 2013年6月提訴

原告：熊本 1,418名（内鹿児島 772名）東京 86名 近畿 130名 新潟 150名
平均年齢 73歳 最高齢は 100歳 既に 200名超が亡くなっている。

熊本地裁では、昨年 10月から行われていた原告本人尋問（全 22名）が 3月 8日に
終わりました。9月 8日結審の予定です。近畿訴訟は、9月 27日に判決予定。

2) 宣伝行動について

不知火患者会より、鹿児島市内での宣伝行動と、下記の決起集会等への参加要請を
各団体に行いたいとの、連絡がありました。

日時：5月 12日（金）or 5月 16日（火）or 5月 17日（水）

5月 12日（金）に行うこととした。

12：30～13：30 宣伝行動 天文館

14：00～15：00 打ち合わせ（裁判状況の報告・決起集会への参加要請）

*打ち合わせ会場は、近隣の会場を探します。⇒サンエールかごしま中研修室

*各団体 1名以上の参加をお願いします。

*県労連傘下の組合については、建交労やコープ労組など専従のいるところには
声掛けをお願いします。

3) 決起集会 別紙参照

日時 5月 28日（日）13：30～15：00

会場 嘉島町民会館（熊本県上益城郡嘉島町）

各団体 1名以上（社保協関係で 10名以上）の参加をお願いします。

足のない方は、乗り合わせで行きたいと思います。事務局までお知らせください。

4) 第 40回ミナマタ現地調査

日時 8月 19日（土）13：00～17：00

8月 20日（日）09：30～12：00

会場 津奈木

各団体複数名以上の参加をお願いします。

6、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) かごしま九条の会「大軍拡NO！5・3街頭宣伝行動」別紙参照

5月 3日（水・祝）12：45～13：15

天文館アーケード

2) 憲法記念日 第 27回市民のつどい 別紙参照

5月 3日（水・祝）14：00～16：00

かごしま県民交流センター大ホール

SDGs と憲法 ～誰一人取り残さない世界を実現するために～

講師：武井 由起子さん（弁護士）

協賛の依頼がありましたので、対応します。

- 3) 鹿児島県護憲平和フォーラム主催 5・3憲法記念日集会

5月3日（水・祝）10：00～12：00

鹿児島市国際交流センター

講師：飯島 滋明さん（名古屋学院大学教授）

- 4) かごしま九条の会総会・記念講演 別紙参照

6月3日（土）13：30～17：00

自治会館 402号

記念講演 講師 千坂 純（日本平和委員会 事務局長）

- 5) 川内原発 20年運転延長を問う県民投票 別紙参照

6月から、署名運動がスタートします。各団体でも積極的な対応をお願いします。

7、その他

- 1) 今後の日程

- ①中央社保学校

9月16日（土）～17日（日）

岡山市 ハイブリッド形式

- ②第34回九州セミナー in 宮崎

11月18日（土）～19日（日）

宮崎市 リアル形式

- ③2023年日本平和大会 in 鹿児島に向けて

11月11日（土）～12日（日）

鹿児島市 宝山ホール 鹿児島県の参加者はリアル参加

- ④鹿児島県母親大会

7月23日（日）10：00～16：00

中央公民館 リアル形式

午前：分科会 午後：全体会

- ⑤日本母親大会

11月25日（土）～26日（日）

山口市 ハイブリッド形式

- 2) 75歳以上医療費窓口負担2割化アンケート 別紙参照

県社保協 第4回(2023年5月)幹事会(報告)

日時: 2023年5月23日【火】18:00~19:30

場所: 鹿児島民商 会議室

参加: 重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長)、山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、(年金者組合)

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

堅山 清隆、村上 洋平(以上監査)

【議題】

- 1、各団体活動報告(4~5月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて
- 4、いのちのとりで裁判支援について
- 5、水俣病被害者支援について
- 6、各分野別課題と今後の取り組みについて
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 7、その他
 - 1) 日程について
 - 2) その他

【事務局報告】

- 4月13日(木) 日本平和大会現地実行委員会
- 4月15日(土) 県母親大会実行委員会
- 4月20日(木) 市民の市政をつくる会幹事会
- 4月27日(木) いの健鹿児島幹事会
- 5月01日(月) メーデー集会 日本平和大会現地実行委員会
- 5月03日(水) かごしま九条の会 宣伝行動 市民のつどい 他
- 5月12日(金) ノーモア・ミナマタ第2次訴訟支援宣伝行動
- 5月13日(土) 原水爆禁止国民平和大行進鹿児島県実行委員会
- 5月15日(月) 市民の市政をつくる会幹事会
- 5月18日(木) 母親大会実行委員会 対県要請行動

5月20日(土) 県母親大会実行委員会

5月22日(月) ゼロの会署名提出行動

1、中央社保協報告について

1) 運営委員会報告

別紙参照

2) 学習会・集会関係

【終了したもの】 ホームページに動画がアップされています

①マイナンバーカード強制をやめて 健康保険証廃止は撤回を！ 5.18院内集会

5月18日(木)

②介護保険制度の改善を求める5.22 請願署名提出集会

5月22日(月) 10:30~12:00

【これからの予定】

①軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める国会内集会 別紙参照

6月8日(木) 14:30~

3) 第67回全国総会 別紙参照

7月5日(水) 11:00~16:30

全労連会館&オンライン

2、各団体活動報告

生健会・・・

民医連・・・

県商連・・・インボイス登録を急ぐ傾向がみられる、今後も議会での意見書採択に取り組み予定。コロナ貸付の返済が始まり資金繰りが苦しくなっている。

保険医協会・・・

県労連・・・メーデー集会に88名+オンライン110名が参加。有水事務局長が退職し、その対応で臨時の評議員会を予定している。

医労連・・・5/11に看護労働実態調査を記者発表 医療生協労組は別紙

自治労連・・・麦の芽労組が、地労委にあっせん手続き。

年金者組合・・・

民青同盟・・・6/11にもってけ市を準備。県委員会ができた。7月に憲法学習会を企画している。

共産党・・・

新婦人・・・大軍拡より福祉・教育(給食費の無料化、こども医療費の無料化など)にまわせの取り組みを進めている。県民投票に向けて学習を進めている。

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・5/28 に自衛隊への名簿提供問題で、会を立ち上げる準備を進めている。

3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて

- 1) 第9期介護保険事業（支援）計画の作成準備について
- 2) 鹿児島医療圏の状況

介護保険制度の課題について意見交換しました。9～10月開催に向けて準備することとしました。次回幹事会で、企画の詳細について論議することにしました。

4、いのちのとりで裁判支援について

- 1) 7月24日（月）14：00～が最終弁論で結審となります。
- 2) 各地の判決（2022～2023年）

原告勝訴

熊本：2022年5月25日 東京：2022年6月24日 横浜：2022年10月19日
宮崎：2023年2月10日 青森：2023年3月24日 和歌山：2023年3月24日
埼玉：2023年3月29日 奈良：2023年4月11日

原告敗訴

秋田：2022年3月7日 佐賀：2022年5月13日 仙台：2022年7月27日
大津：2023年4月13日 大阪（高裁）：2023年4月14日（逆転敗訴 控訴へ）

- 3) 結審日（7月24日）に宣伝行動や集会など、生健会や25条の会と調整して開催したいと思います。

5、水俣病被害者支援について

- 1) 国賠訴訟の状況 2013年6月提訴

原告：熊本1,418名（内鹿児島772名）東京86名 近畿130名 新潟150名
平均年齢73歳 最高齢は100歳 既に200名超が亡くなっている。

熊本地裁では、昨年10月から行われていた原告本人尋問（全22名）が3月8日に終わりました。9月8日結審の予定です。近畿訴訟は、9月27日に判決予定。

- 2) 宣伝行動について 別紙参照

日時：5月12日（金）

12：30～13：30 宣伝行動 天文館

14：00～15：00 打ち合わせ（裁判状況の報告・決起集会への参加要請）

- 3) 決起集会

日時 5月28日（日）13：30～15：00

会場 嘉島町民会館（熊本県上益城郡嘉島町）

各団体1名以上（社保協関係で10名以上）の参加をお願いします。

民医連1名 県労連9名（自治労連1 コープ労組1 医労連1 建交労6）

民商 名 共産党1名 民青 名

新婦人 名 保険医協会 名

足のない方は、乗り合わせで行きたいと思います。事務局までお知らせください。

4) 第40回ミナマタ現地調査

日時 8月19日（土）13:00～17:00

8月20日（日）09:30～12:00

会場 津奈木

各団体複数名以上の参加をお願いします。

6、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) かがしま九条の会総会・記念講演 **別紙参照**

6月3日（土）13:30～17:00

自治会館402号

記念講演 講師 千坂 純（日本平和委員会 事務局長）

2) 日本平和大会現地実行委員会立ち上げ

6月3日（土）17:30～19:00

自治会館402号

終了後、自治会館1階レストランで懇親会（現在8名で予約）

参加者：千坂、松下、桑畑、日高、長野、（ ）、（ ）、（ ）

会費：4,000円程度

*鹿児島中央駅まで、日高が送迎します。

3) 鹿児島を日米の軍事拠点にするな！6・4かがしま集会 **別紙参照**

6月4日（日）集会14:00～15:00 集会後、スタンディング15分～30分

鹿児島市中央公園（開会時に雨天の場合 教育会館3階ホール）

4) 原水爆禁止国民平和大行進

県内行進日程 奄美・・・6月18日（日）～19日（月）

本土・・・6月26日（月）～7月10日（月）

コースの詳細は5月27日に確認予定

5) 九州セミナー第6回課題別セミナー「ジェンダーと健康」 **別紙参照**

6月10日（土）10:30～17:00

リファレンス駅東ビル3階・H2会議室&オンライン

7、その他

1) 今後の日程

- ①中央社保学校
9月16日(土)～17日(日)
岡山市 ハイブリッド形式
- ②第34回九州セミナー in 宮崎
11月18日(土)～19日(日)
宮崎市 リアル参加
- ③2023年日本平和大会 in 鹿児島に向けて
11月11日(土)～12日(日)
鹿児島市 宝山ホール 鹿児島県の参加者はリアル参加
- ④鹿児島県母親大会
7月23日(日) 10:00～16:00
中央公民館 リアル形式
午前:分科会 午後:全体会
- ⑤日本母親大会
11月25日(土)～26日(日)
山口市 ハイブリッド形式

次回幹事会日程(案)7月28日(金)18:00～

老朽原発動かすな！ストップ川内原発3・11かごしまパレード
川内原発1・2号機を廃炉に！

去る3月11日、鹿児島市の天文館公園で、老朽原発動かすな！ストップ川内原発3・11かごしまパレードが行われ、400名を超える県民が、「老朽原発動かすな！」「川内原発1・2号機は廃炉に！」「福島を忘れるな！」などと訴えました。民医連からも10名を超える職員が参加しました。

川内原発の20年運転延長をめぐることは、昨年10月、九州電力が原子力規制委員会に対して、川内原発1・2号機の20年運転延長の手続きを行いました。

また、3月1日の県議会で、塩田康一知事は、マニフェストに掲げた九州電力川内原発の運転期間延長に伴う県民投票について「必要に応じて実施する」との考えを改めて示しています。（平良行雄議員の一般質問に対して）

鹿児島県は原子力専門委員会の検証結果を受け、運転延長に対する考えをまとめるとしてありますが、難航している様子です。

岸田政権が原発回帰を強めていきます。これまで封印してきたリブレス（建て替え）や60年超の運転容認を、国会で十分な議論をせざる決めました。福島第1原発事故を教訓に推進してきた再生可能エネルギー普及の姿勢にも疑問符がついています。

国民のいのちより、電力会社や原子力村の利益を優先する政策に、引き続き反対していきましよう。



岸田政権の新・原発推進政策の撤回を求める全国署名

衆議院議員 殿
参議院議員 殿

これまで政府は、東京電力福島第一原発事故を受け「原発依存度を低減する」「新増設は考えていない」と表明していました。ところが岸田政権は、脱炭素社会の要求の高まりやロシアのウクライナ侵襲に端を発したエネルギー危機を口実に、原発の積極的利用推進に舵を切りました。2022年12月、政府のGX（グリーントランスフォーメーション）実行会議は、原発再稼働の加速、新増設、老朽原発の運転期間の事実上の延長（原則40年・最長60年の運転期間の個別裁量）、新型原子炉の開発促進などを盛り込んだ基本方針を決定しました。

しかし、これらの原発推進・開発政策は、電力の安定供給の役に立たず、世界有数の地産・洋消費の事故の危険性や、廃炉、廃棄物処理などに対して何ら解決策をもっていない。福島第一原発の奇襲事故の教訓を投げ捨て、新たな「安全神話」をつくりだす原発の再稼働・新増設、運転期間の延長を認めるわけにはいきません。

私たちは政府に対して原発推進政策の撤回と、世界で飛躍的に増えている再生可能エネルギーと省エネの推進、気候危機打開に貢献できる政策を実施することを求め、以下の要請をいたします。

請願事項

1. 原発運転期間の現行ルールを変更しないこと。
2. 原発の新増設及び建て替え(リブレス)を中止すること。
3. 新型原子炉の開発ではなく福島第一原発を含む原発の廃炉研究をすすめること。
4. 稼働中の原発を即時停止し、原発の再稼働を中止すること。

名前	住所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

氏名は省略せず記入してください。「-」は無効となります。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

署名ひかけ
原発をなくす全国連絡会
お問い合わせ・署名送付先
原発をなくす全国連絡会 (全日本民医連共付)
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F
Tel 03-5842-6451 Fax 03-5842-6460
E-mail no-nukes@min-en.or.jp

取組団体
全日本民主医療機関連合会

右の署名は、岸田政権が原発回帰を強める中、この春から開始する「原発推進政策の撤回を求める全国署名」です。各法人・事業所へは、3月下旬以降提起する予定です。

川内原発の20年延長をめぐる、直接請求による「県民投票」の実施に向けた準備が進められています。改めて4月以降受任者（署名を集める人）登録の案内をしたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

川内原発の延長運転の問題で県に要請
分科会での引き続きの議論を

去る 5 月 2 日、鹿児島民医連も参加する「原発ゼロをめざす鹿児島県民の会」が、鹿児島県知事と鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会に対して、「分科会報告書」を差し戻し、分科会で引き続き川内原発の延長運転の問題点を徹底議論することを求めて、要請を行いました。

事の発端は、4 月 26 日、川内原発の運転延長について議論していた鹿児島県の原子力専門委員会が、九州電力が行った特別点検や劣化状況の評価を「適正」とした分科会の検証を尊重し、今後、県に提出する報告書をまとめることを決めたことによるものです。

専門委員会では、一部の委員から、「報告書には同意できない」「報告書の内容は極めて不十分」と発言していましたが、その意見は報告書には反映されませんでした。この委員は、塩田知事が選挙公約に掲げていた、原子力政策に批判的な識者で、県民の代弁者です。この意見を踏みにじることは、県民への冒瀆です。

昨年の 11 月に開かれた専門委員会では、運転延長に向けた特別点検を検証している分科会に対して『ひとつの意見にまとめる必要はない』との意向を伝えていました。しかし、分科会報告書は、九州電力の言い分を丸のみし、批判的な意見をまったく無視したものになっています。こんな県民の意見を無視した報告書が許される訳がありません。



川内原発 1・2 号機は、まもなく寿命の 40 年を迎えます。しかし、九州電力は、昨年 10 月、運転延長のための申請を原子力規制委員会に行い、現在審査が行われています。老朽化した原発は事故のリスクも高く、ひとたび事故を起こせば、取り返しのつかない事態を招きかねません。このように、私たちのいのちや暮らしに直結する問題でありながら、県民の声も聞かず決めることは許されません。川内原発を今後も動かし続けるのか、それとも止めるのか、県民の声を聞いて決めるように求めて、現在県民投票条例案制定を目指して直接請求署名の準備が進められています。是非、多くの職員の参加をお願いいたします。

県連平和・社保委員会 ミニ学習会

「県民投票条例(案)制定 直接請求署名」学習会

日時 5 月 16 日(火) 17:30~18:00

場所 県連 2 階会議室 オンライン(ZOOM)併用

講師 向原祥隆さん(川内原発 20 年延長を問う県民投票の会 事務局長)

<オンライン参加方法>

① ブラウザ上で下記の URL を入力しご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/86997334477?pwd=N1M0RzVUOHNNQ3BnQU16Uk0vQUdtZz09>

② Zoom アプリから下記のミーティング ID とパスコードを入力しご参加ください。

ミーティング ID: 869 9733 4477

パスコード: 450065



去る 5 月 3 日、鹿児島市の天文館で、かごしま九条の会主催の「大軍拡 NO! 5・3 街頭宣伝行動」が行われ、会員など 25 名が参加し、南日本新聞に掲載した「意見広告」を配布しながら、「平和憲法を守ろう」「岸田大軍拡反対」を市民に訴えました。

参加した人が、かわるがわるにマイクを持ち、岸田首相が、昨年 12 月に、長きにわたり安全保障政策の基本としてきた専守防衛を名実ともに捨て去り、敵基地攻撃能力の保有や軍事費 2 倍化を定めた「安保関連 3 文書」を閣議決定するなど、国民生活には目もくれず、大軍拡と戦争国家づくりにまっしぐらに進んでいること、そして、鹿児島から沖縄までの南西諸島で、自衛隊基地を新増設し、敵基地攻撃用の長距離ミサイルが配備される最前線基地にしようとしていること、などを訴えました。

約 30 分の行動でしたが、約 300 枚のチラシを配布することができました。

日本国憲法施行 76 周年記念 **かごしま九条の会主催**
大軍拡 NO! 5・3 街頭宣伝行動に 25 名が参加



県連平和・社保委員会 ミニ学習会

「県民投票条例(案)制定 直接請求署名」学習会

日時 5 月 16 日(火) 17:30~18:00

場所 県連 2 階会議室 オンライン(ZOOM)併用

講師 向原祥隆さん(川内原発 20 年延長を問う県民投票の会 事務局長)

<オンライン参加方法>

① ブラウザ上で下記の URL を入力しご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/86997334477?pwd=N1M0RzVUOHNNQ3BnQU16Uk0vQUdtZz09>

② Zoom アプリから下記のミーティング ID とパスコードを入力しご参加ください。

ミーティング ID: 869 9733 4477

パスコード: 450065



**不知火患者会と鹿児島県内の支援団体共同でかごしま県民に訴え
ノーモア・ミナマタ支援連帯行動に 18 名が参加**

去る 5 月 12 日、鹿児島市の天文館で、ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟の勝利をめざし、ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟原告団と鹿児島県内の支援団体が共同して、署名宣伝行動を行いました。

宣伝行動では、「チツソ・国・熊本県は、すべての被害者を救済せよ」の横断幕を掲げ、原告がかわるがわるマイクを握り、水俣病被害の実態と、裁判の状況を県民に訴え、支援を呼びかけました。署名の反応も良く、募金をくださる方もいました。

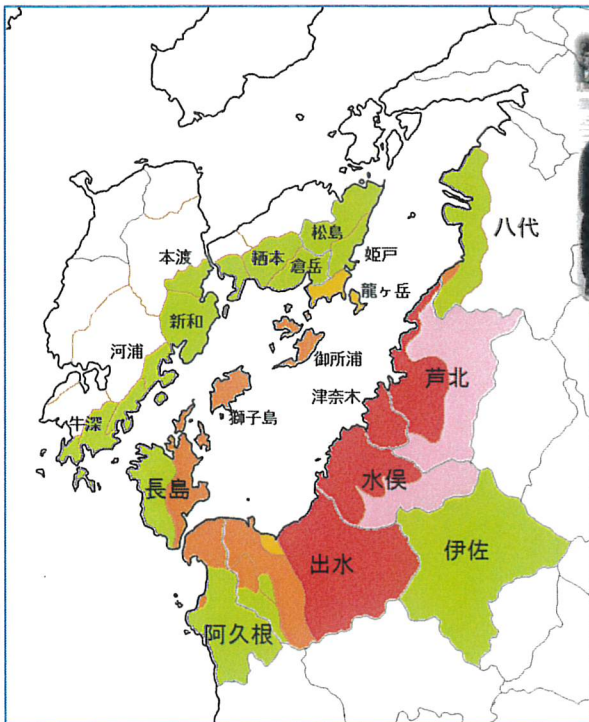
現在たたかわれているノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟（熊本地裁）は、水俣病特措法で、住んでいた地域や年齢を理由に救済されなかった被害者が、2013 年 6 月に救済を求めて起こした裁判で、今年で 10 年を迎えます。特措法で外された地域は、下の地図のように、熊本県天草や、鹿児島県旧長島町、出水市、阿久根市、伊佐市などで、ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟の原告 1246 名の内、半数を超える 685 名が鹿児島

島県関係者となっています。宣伝行動にも、出水市や阿久根市などから 9 名が参加しました。

今年の夏から秋が大きな山場
ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟は、熊本地裁以外にも、東京、大阪、新潟でたたかわれており、先陣を切って大阪地裁で 9 月 27 日に判決があります。また、熊本地裁も 9 月 8 日に結審し、来年春ごろに判決となる予定です。



下の緑色の地域が、特措法から外された地域です。



水俣病は公式確認から 67 年、多くの国民が、過去の病気だと思っています。また、その病名から、熊本（水俣）の問題だと思っています。しかし、今もなお、被害に苦しむ患者は後を絶たず、鹿児島県にも多くの被害者がいるのです。原因企業のチツソはもとより、被害状況の調査に乗り出さない国の責任は重大です。

この夏から秋、大きな山場を迎える裁判を、多くの県民とともに、支援していきましょう。



水俣病被害者の早期救済をめざす 5・28 総決起集会
ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟の勝利で全被害者の救済を

去る 5 月 28 日、熊本県嘉島町の嘉島町民会館で、水俣病被害者の早期救済をめざす 5・28 総決起集会が行われ、原告や弁護団など約 450 名が参加し、ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟の勝利と全被害者の救済を誓いあいました。鹿児島からも支援団体などから約 10 名が参加しました。

ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟は、水俣病特措法で、地域や年齢を理由に対象外とされた人たちが、2013 年 6 月に救済を求めて裁判を起こしたもので、今年で 10 年となります。この 10 年間で 230 名を超える原告が亡くなり、平均年齢も 75 才を超えていることから、早期の救済が必要で

す。
 この裁判が、いよいよ今年の秋から来春にかけて判決を迎え、9 月 27 日には、先陣を切って大阪地裁で判決があります。早期救済のためにも、絶対に負けられない裁判です。全被害者の救済が実現するため、引き続き支援していきましょう。



左上から、基調報告する園田昭人弁護士 来賓あいさつする仁比聡平参議院議員 近畿訴訟の報告をする徳井義幸弁護士と原告団の安田幸美さん 右は、ノーモア・ミナマタ第 2 次訴訟原告団と弁護士団

大軍拡・大增税 NO!

鹿児島を日米の軍事拠点にするな! 6・4 かがしま集会

日時 6 月 4 日(日)集会 14:00~15:00

集会後、スタンディング 15 分~30 分

場所 鹿児島市中央公園

(雨天の場合 教育会館 3 階ホール)

主な内容

- 各立憲野党からの連帯あいさつ(立憲・共産・社民)
- 特別報告(現地からの報告)
 - ①馬毛島基地建設問題
 - ②海自鹿屋基地への無人機配備問題
 - ③奄美のミサイル基地問題
- スタンディングアピール

かがしま九条の会

会員総会・記念講演・県下九条の会交流会

日時 6 月 3 日(土)13:30~

会場 自治会館 402 号(鹿児島県庁前)

参加費 無料 (どなたでも参加できます)

【記念講演】

テーマ「安保 3 文書の改定と南西諸島の軍事強化の動きについて(仮題)」

講師 千坂 純さん(日本平和委員会 事務局長)

オンライン視聴を希望される方は、下記のメールアドレスに、①氏名、②電話番号を明記の上、ご送信ください。後日、資料と招待メールをお送りします。

k-9jo@kagoshima-min.jp

大軍拡・大増税NO!
鹿児島を日米の軍事拠点にするな! 6・4がこしま集会

去る6月4日、鹿児島市の中央公園で、「大軍拡・大増税NO! 鹿児島を日米の軍事拠点にするな! 6・4がこしま集会」が行われ、県内各地から約250名が参加し、鹿児島で進む日米の軍事拠点化NO!を訴えました。

集会は、昨年12月、岸田政権が行った安保関連3文書の改定（日本が長きにわたる安全保障政策の基本としてきた専守防衛を名実ともに捨て去り、敵基地攻撃能力の保有を含めた大軍拡路線に舵を切ったこと）に対して、断固反対の意思を示すとともに、鹿児島で進む、日米の軍事拠点化に断固反対する集会として開催されました。

集會では、馬毛島や鹿屋、奄美から、それぞれ現地の状況やたたかいについて報告がありました。また、統一地方選挙後初めて、立憲野党の代表が勢揃いし、それぞれの代表から連帯の挨拶がありました。

各党代表からは、岸田政権の様々な暴挙を許さず、市民と野党の共闘で解散・総選挙に追い込み、勝利しようと呼びかけられました。

集会終了後、参加者らは会場周辺でスタンディング行動を行い、県民に「鹿児島を戦場にするな」「憲法守らぬ岸田首相は退陣せよ」などと訴えました。



右から 川内博史さん（立憲民主党前衆議院議員） 野元徳英さん（日本共産党 県委員長） 川路孝さん（社民民主党県連 代表）

左から 前園 美子さん（馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会 副会長） 松下徳二さん（反戦・反核 大隅市民の会 代表） 星村博文さん（奄美の自然と平和を守る群民会議 議長）



左上 憲法守ろうピースアクションの皆さん
左下 シュプレヒコールの様子

右上 県民投票の会の向原祥隆さん
右下 スタンディング行動の様子（国道10号線）